

# 妙高の雪で

# 雪洞泊体験

## 指導者養成研修会 ～雪洞泊～

令和6年2月17日(土)～18日(日) 開催

申込はこちら



主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

後援 妙高市教育委員会 上越市教育委員会 糸魚川市教育委員会

講師 小菅 江美 氏(NPO法人緑とくらしの学校 森のこども園てくてく 園長)  
国立妙高青少年自然の家職員

締切  
令和6年1月31日(水)

会場 国立妙高青少年自然の家 (〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2)

対象 ・青少年教育関係者で、自然体験を指導できる知識と技能を身に付けたい方  
(18歳以上、高校生は除く)  
・自然体験に興味関心のある方  
・妙高青少年自然の家での冬季利用において、雪洞泊を予定している団体の指導者の方  
※妙高青少年自然の家で雪洞泊をする際は、団体内の指導者のどなたかが本体験会へ参加することが必須条件となります。過去に自然の家で同様の雪洞泊体験を指導された方は、必須ではございません。

20名程度

2月17日(土)		2月18日(日)	
8:45～ 9:00	受付	6:30～ 8:30	寝具片付け・朝食・休憩
9:00～ 9:15	開会式	8:40～ 9:30	雪洞こわし・物品返却
9:20～10:20	雪洞づくり講義	9:40～10:00	振り返り
10:30～12:00	雪洞づくり①	10:10～	閉会式
12:00～13:00	昼食・休憩		
13:15～16:00	雪洞づくり②		
16:00～17:00	雪灯ろうづくり		
17:20～20:30	入浴・夕食・休憩 雪灯ろう観賞		
20:45～21:30	雪洞泊準備		
21:30～	就寝		

【お問い合わせ】

国立妙高青少年自然の家 〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2  
TEL:0255-82-4321

担当:高橋

## 指導者養成研修会 ～雪洞泊～ 開催要項

### 1 趣 旨

- ・自然体験活動の指導者として幅広い知識と技術をもち活躍できる人材の育成
- ・利用団体の引率者等の研修の機会とし、妙高のフィールドや身近なフィールドでの指導技術の向上を目指す

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

3 後 援 妙高市教育委員会 上越市教育委員会 糸魚川市教育委員会

4 期 日 令和6年2月17日（土）～2月18日（日）

5 会 場 国立妙高青少年自然の家（〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2）

### 6 対 象

- ・青少年教育関係者で、自然体験を指導できる知識と技能を身に付けたい方（18歳以上、高校生は除く）
- ・自然体験に興味関心のある方
- ・次年度の妙高青少年自然の家での冬季利用において、雪洞泊を予定している団体の指導者の方  
※妙高青少年自然の家で雪洞泊をする際は、団体内の指導者のどなたかが本体験会へ参加することが必須条件となります。過去に当施設で同様の雪洞泊体験をされた方は、必須ではございません。

### 7 講 師

小菅 江美 氏（NPO法人緑とくらしの学校 森のこども園てくてく 園長）  
国立妙高青少年自然の家 職員

### 8 募集人員 及び 申込について

- (1) 申込期限 1月31日（水）17:00まで
- (2) 申込方法 Web フォーム(<https://forms.office.com/r/ELujLh6tn5>) にて申込み
- (3) 定員 20名程度

### 9 参加費

宿泊者：2,400円（朝1食・昼1食・夕1食、保険代、シュラフシート洗濯料、携行食代）  
日帰り：800円（昼1食、保険代、携行食代）



## 10 日程及び内容

2月17日(土)

8:45～ 9:00 受付  
9:00～ 9:15 開会式  
9:20～10:20 雪洞づくり講義 【小菅 江美 氏】  
10:30～12:10 雪洞づくり① 【小菅 江美 氏】  
12:10～13:10 昼食・休憩  
13:15～16:00 雪洞づくり② 【小菅 江美 氏】  
16:00～17:00 雪灯ろうづくり 【自然の家職員】  
17:20～20:30 入浴・夕食・休憩・雪灯ろう観賞  
20:45～21:30 雪洞泊準備(シュラフ・服装など) 【自然の家職員】  
21:30 就寝

2月18日(日)

6:30～ 8:30 寝具片付け・朝食・休憩  
8:40～10:00 雪洞こわし・物品返却  
10:10～10:40 振り返り  
11:00～ 閉会式

## 11 持ち物

- 雪上での活動に適したウェア(スキーウェア等) 長靴又はスノーシューズ(長靴の貸出可能)
  - マスク 手袋(防水・防寒) 保険証 筆記用具 活動リュック
  - ウェアの中に着る服装は、汗をかいてもすぐ乾く物、厚手の靴下等の工夫が必要です
  - 宿泊者は宿泊に必要な物(洗面用具・タオル・歯ブラシ・コップ・着替え等)
- ※雪洞泊に必要な寝袋やマット等はこちらで貸し出します。

## 12 その他

- \*自然の家で雪洞泊の活動を希望する場合は、指導者が当施設の「雪洞づくり講義」「雪洞づくり①・②」と「雪洞泊」のカリキュラムを受講していることとします。
- \*積雪量から安全な雪洞泊が実施できない場合は、プログラムの変更または、中止する場合があります。
- \*感染症拡大予防の観点から、プログラムの変更または、中止する場合があります。

### 【本件に関する問い合わせ】

独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立妙高青少年自然の家 担当：高橋 希  
〒949-2235 新潟県妙高市大字関山 6323-2  
電話：0255-82-4321 FAX：0255-82-4325  
メールアドレス：myoko-sen@niye.go.jp